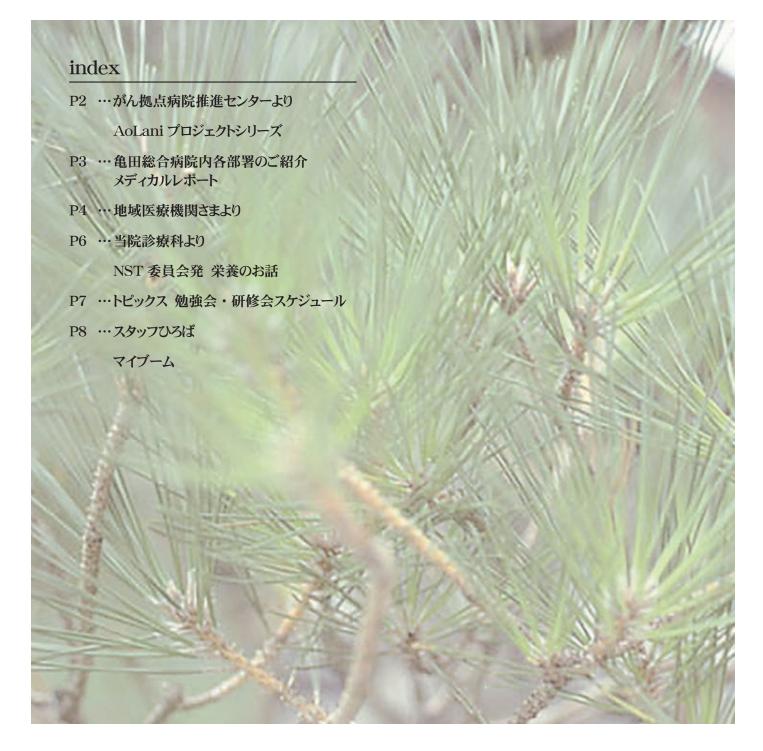
# かめだより



発行:医療法人鉄蕉会 亀田総合病院/地域医療支援部·地域医療連携室 〒296-8602 千葉県鴨川市東町929 発行責任者: 亀田信介 編集責任者: 唐鎌房子

TEL: 04-7099-1261 (内線7156)



## がん拠点病院推進センターより

## 禁煙支援の取り組み

亀田クリニック 健康管理支援室 禁煙支援担当看護師 苅込 利衣



地域がん診療拠点病院は、敷地内禁煙等のたばこ対 策に積極的に取り組むことが遵守規程となっており、当 院においても喫煙・受動喫煙による健康被害防止する ため、建物内のみならず敷地内全面禁煙としています。

亀田クリニック禁煙支援外来での看護職としての役割は、患者さまが治療を受けながら禁煙行動への取り組みを自発的に行えるよう、患者さま自身が持つ「行動を変えるための力」を最大限に引き出しサポートすることです。主な支援内容は、禁煙の実行・継続に向けたカウンセリングですが、禁煙治療を希望する外来・入院患者さまのみならず、禁煙に関心を持ち始めた患者さまへのサポート、禁煙に関する相談や問い合わせなどの電話対応も行っています。

2005年に「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約(FCTC)」が発効され、日本は同条約の締約国として、タバコ製品への注意文言の表示強化、広告

規制の強化、禁煙治療の保険適用、公共の場は原則として全面禁煙であるべき旨の通知などの対策を行ってきました。そして、2012年「がん対策推進基本計画」において、国は喫煙に関する個別目標を設定し、2022年度までに禁煙希望者が全員禁煙することによって成人喫煙率を12%とすることを目標としました。このように、タバコは、がんの危険因子のなかでも罹患・死亡に大きく関与するため、タバコ対策は日本において取り組むべきがん対策のなかでも高い優先順位となっています。

医師をはじめとした私たち医療職の介入で、その禁煙効果はさらに高まることもわかっています。私たちにできる今後のがん対策として、各医療施設での禁煙治療・禁煙支援などの禁煙サービスの充実をはかり、喫煙率の低下や、喫煙・受動喫煙による健康被害の拡大防止に努めることが大切であると考えます。

#### 

~ 院内ネットワークから地域ネットワークへ ~

#### 地域医療連携と AoLani プロジェクト



シリーズ-7: AoLani が医療一介護 連携で目指すこと

シリーズ-6では、AoLaniの医療機関同士の連携についてお話ししました。今回は医療機関と介護施設の地域連携についてのお話しです。

急性期から慢性期、かかりつけ医などの機能の異なる医療機関が、地域でチームを作る意義について、前回お話ししました。しかし、住民の健康を維持するためには、介護施設と医療機関との連携も必要です。医療機関同士の連携と同じように、介護と医療

情報戦略室部長・室長 鉄蕉会 CIO 中後 淳

との連携にも情報共有システムと、そのシステムを 運用するための仕組みが不可欠です。介護と医療の 連携にはどのような考え方が必要なのでしょうか。

医療機関同士の連携では、同じアプリケーションを使うことの重要性についてワープロソフト Word に例えてお話ししました。異なる医療機関に所属する医療従事者も、みんなが AoLani を使うことで、地域全体の医療の質と効率が圧倒的に高まるという

# 《くすりと人との連携》 鴨川くすり連絡簿」について

ります。 んど行えていないのが現状です。 薬学的ケアなど、日々さまざまな業務を行ってお 薬剤部は、医薬品の供給、調剤、製剤、情報管理 しかしながら、地域連携に関してはほと

活動していくこととなりました。 を行うこととなり、 今年度は た。薬に関する様々な問題があることを背景に、 スムーズな連携が図れるのか議論されておりまし いろいろな問題を解決しながら、どうすることで の医療・介護・福祉関係の皆さんからあげられる そのような中、鴨川医療連携会議では、 「薬」そして「薬剤師」 私どもがこの会議に参加し、 をテーマに活動 地域で

した。 にご相談頂ける土台を構築することが先決と考え を少しでも解決するためにも、 などなど、 間違っていた」、「残薬がすごいことになっている」 と関わっている委員の方々から、「実はその飲み方 段何気なく薬を服用している方々の話や患者さま たいことはたくさんあります。会議の中でも、 薬にまつわることはとても多く、皆さんに伝え 啓蒙パンフレットを作成することになりま 多くの実情が共有され、 薬に関して薬剤師 それらの問題 普

つつ、今後在宅

フと連携をとり

訪問などの医療

に携わっていき

んぼ)を発行しました。当院はもちろん、 そして昨年10月に「鴨川くすり連絡簿」(かくれ 市内の

ります。

たいと思ってお

飲み方・使い方」「おくすり手帳+保険証+診察 ひご覧ください。 医療機関や公共施設などに置いていますので、 う」としました。まずは皆さんに一読いただき 券を一緒に持ちましょう」、「薬剤師に相談しましょ この中身ですが、 「お薬の正しい ぜ

談していただこうということで、市内の薬剤師 する一助にするため、 をひとまとめにして、薬の重複や、副作用を回 相手として活躍できるように頑張りたいと思って たいと考えております。 おります。 いる施設を掲載しました。 していた薬、アレルギー歴、 お薬を使っていただけたらいいなと思います。 んに持っていただき、 また、ちょっと手間でも、 おくすり手帳を広めていき 今服用中の薬、 薬に関して、薬剤師に 薬に関して身近な相談 副作用歴などの情 おくすり手帳を皆さ 過去に服 が 相

す。 ます。 を少しでも減らす手助けとしていきたいと考えま 師や医療スタッ を制作しており、もうすぐお披露目できると思い 最後に、この「かくれんぼ」に続いて、現在DV 私たち顔の見える薬剤師として、 多くの方々にご覧頂き、 薬に関しての心配 地域の薬剤

ことです。これは介護施設でも同じことが言えます。 連携する介護施設同士が同じアプリケーションを 使って連携するメリットは計り知れません。しかし, 介護施設と医療機関は同じアプリケーションを使う 必要はありません。根拠も、求められるサービス 必要な資格も異なり、記録すべき情報もあまり 重なっていないため、同じアプリケーションを使う ことによるメリットよりデメリットが大きくなりま しかし、情報連携は確実に必要になります。そ れぞれの施設で日々扱われる情報のうち、介護施設 と医療機関とが連携することで、地域全体の医療介 護の質や効率が上がる情報を見極め、必要とする人 が必要な情報を、タイムリーにストレスなく共有し

あえるシステムが求められます。 医療機関が Word を使うなら、介護施設は Excel を使い、必要な情報 を共有しあうイメージです。もちろん、介護施設に 勤務する医師は Excel も Word も使うことで、必要 十分な情報にアクセスできるようにもします。

薬に関して今一度関心を持っていただき、正しく

AoLani は介護システムと連携する電子カルテシ ステムになります。介護システムと AoLani の連携 は、当初計画から構想されていました。いよいよ来 年度から, どのような情報連携をすべきか設計し, システム開発していくことになります。同じように 調剤薬局など、医療に関係する業界との連携を進め、 住民の健康に関係する情報を集約するシステム構築 を目指しています。

※次回は患者さまと AoLani についてお話しします。

#### 地域医療機関さまより





た。しかし今、高齢者となっ た方々は私達子供の為に 自分たちが満足に食べられ ない事も苦にせず頑張って, 今や世界一と言ってもいい 程幸せな国を作り上げて下 さいました。私は「この方々 の為に、ありがとうございま すの気持ちを持ち続けて一 生を終わりたい。」これを信 念としてまいりました。その

#### 医療法人社団明敬会 重城病院 理事長・院長 重城 明男

当院の創設は昭和61年1月、木更津市岩根に重 城医院の開設から始まり平成13年9月には隣接して 岩根診療所を開設いたしました。その間、土曜日・日 曜日も診療を行い、救急医療にも積極的に参加し、ご 要望があれば在宅診療も行ってまいりました。

私の父は生前から『修證議』という経典の『利他』 という言葉を信条として生活してきました。『利他』とは 利己の反対語で、自らの幸福より他者の幸福を願い行 動することです。父からこの様な教えを受けた事が、ほ ぼ毎日休むことなく副院長である妻と共に地域医療に邁 進して来れたのだと考えております。この『利他』の精 神は当院の基本方針にもなっております。

平成18年7月に2つの診療所が合併して、念願で ありました重城病院を開設し一般病床 21 床, 医療療 養病床 21 床で現在に至っております。

これから日本は世界で誰も経験したことのない超高齢 社会を迎えようとしています。戦後の日本は二度と復興 出来ず日本が無くなってしまうと思う程、荒廃していまし

思いを形にすべく。今日の暮らしの礎を築いてきた高齢 者の方々が医療面のサポートも受けられ、安心して暮ら せる様に、以前父が住んでいた場所に平成24年3月 に特別養護老人ホーム90床、ショートスティ10床の 「矢那梅の香園」を開設しました。 さらに今年の 10 月 には当院のすぐ近くに地域密着型特別養護老人ホーム 29 床、ショートスティ10 床、ディサービス25 人、居 宅介護支援事業所を併設した複合型介護施設を開設 し、地域の方々を医療・介護の両面からサポートできる 体制を整えることが出来ました。

現在の医療は自院で完結するのでは無く、地域連携 から成り立っております。当院では人工呼吸器装着患 者さまも積極的に受け入れております。また気管切開術 や胃瘻造設術も行っておりますのでご相談下さい。



#### 館山病院障害者病棟を訪問 亀田総合病院・神経内科部長 福武 敏夫

昨年9月16日(水)午後に、総勢6名で館山病院障害者病棟を訪問した。参加者は、福武敏夫(神経内科部長)、滝口智子(A4病棟師長)、鈴木由香(同主任)、齊東清道(SW)、福原卓(PT)、石田直美(ST)であった。神経内科では筋萎縮性側索硬化症(ALS)などの患者さまの継続医療をお願いすることが多く、病棟運営を学び、今後の地域連携を深める目的のために信介病院長のご許可をいただき実現したものである。

館山病院のたたずまいは、報告者(福武)が千葉大学在籍時代に非常勤で訪れていた10数年前と変わらず、「時代を感じさせる」ものであったが、目的の障害者病棟は新しく改装され、明るい雰囲気であった。この訪問をこころよく受け入れてくださった菅谷院長と加藤看護部長にご挨拶し、浅井師長のご案内で病棟を見学させていただいた。

病棟には48名の患者が入院されておられ、人工呼 吸器をつけている方が10数名おられるとのことであった。 ALS 患者は8名で、うち6名は人工呼吸器か BiPAP を装着していた。8名のうちの4名は当院からお願いした 方で、1名は両手が使えないものの歩行はなんとか可能 で、転院後に胃瘻が造設されていたがまだ経口で栄養 摂取していた。急な訪問でびっくりされていたが、笑顔 での会話が可能であった。BiPAPを装着した1名の方と は会釈を交わしただけであったが、人工呼吸器装着中 の1名の方からは「伝の心」(指または額のわずかな力で PC 上の走査線を走らせ、2回の信号で特定のひらがな を選択して文章を作り、人工音声により伝えるもの)に より15分かけて「来てくれて嬉しい、良い薬を開発して ほしい」旨のメッセージをいただいた。もう一人の人工 呼吸器装着者はコミュニケーションがとれない状態に進 行していた。

当院からお願いした患者ではない5年来の人工呼吸器装着者は「伝の心」だけでなくPCを「あやつり」活動範囲を拡げておられた。病棟勤務者の誕生日を全て把握し、誕生日にはネットで購入した小品を贈るという話や型紙を作って看護者に組み立ててもらって飾るという話には他の疾患による人工呼吸器長期装着とは画然と異な

るALS患者の強い生き方のモデルをみる思いがした。

見学後、会議室に案内していただき、館山病院の看 護部長、浅井師長、PT、SW を交えて、ミーティング を行うことが出来た。まず、福武から、全般的な点として、 受け入れ状況 (疾患や地域別など), 在院期間, レス パイト入院制度などの点についてお訊きした。次に滝口 師長から、ケアの共有方法(記録、看護体制、受持 患者数、アセスメントデータベースなど)、呼吸器管理 やコミュニケーションツール、精神的なフォロー、さらに 神経難病患者看護の教育体制についてお訊きした。呼 吸管理では入浴時の対処、コミュニケーションでは「伝 の心」での工夫、精神的なフォローについてはリハビリ のスタッフが時間を割いていることなどのお話しが聞け た。リハビリ上の問題点としては保険の算定を越える問 題やベッドから離れての活動(花見や花火見学)のお 話しが聞けた。その他の多くの経験談もお聞きすること ができ、大変有益な見学となった。

同病棟は当院と同じ10:1看護の体制(日中7~8名; 夜間2名)と、PT平均1.5名、OT0.8名の体制で頑張っておられることが分かり、頭が下がる思いであった。この見学を通して、神経内科とその主な病棟であるA4病棟として、館山病院障害者病棟との地域連携を一層深めていけることができると思われたし、亀田メディカルセンターも急性期病棟だけでなく、神経難病を主とする慢性期病棟も包含するような時代が来るかも知れず、先輩病院として今後も指導を仰ぎたいと思われました。

最後に、日中の勤務時間内にこのような見学が出来 たことに対し、館山病院の菅谷病院長、加藤看護部長、 浅井病棟師長、および当院信介病院長に深謝します。





#### 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 整形外科 主任部長 黒田 浩司

整形外科は運動器官を構成する、骨・軟骨、筋・靭 帯、神経などの疾病・外傷を対象とし、その病態の解明 と治療法の開発および診療を行う科です。その対象は脊 椎(脊柱)・脊髄、骨盤、上肢(肩、肘、手、手指)、 下肢(股,膝,足,足趾)など広範囲に及びます。新 生児、小児、学童から成人、高齢者まで全ての年齢層 が対象になり、その内容は多様で治療の必要な患者数が 極めて多いのが特徴です(日本整形外科学会ホームペー ジより)。厚生労働省の「国民生活基礎調査の概況」に よると、自覚症状毎の人口千人あたりの割合は男女とも、 腰痛・肩こり・手足の関節が痛む等の愁訴が圧倒的に多く 整形外科領域の疾病の重要性がうかがわれます。すなわ ち整形外科は国民の生涯を通じて豊かで安心できる生活



をサポートする重要な診療科の一つといえます。

整形外科疾患に対する医療を大きく3つに分けて考 えてみます。まずは高齢者の日常生活の質を支えます。 人工股関節・人工膝関節置換術、頚髄症・腰部脊柱 管狭窄症に対する除圧術、 手根管症候群に対する開 放術、肩の腱板手術などにより生活の障害から目ざまし い改善がみられ、旅行、ゴルフ・テニス・スキーなどの スポーツも可能になります。次に、生活習慣病ともいえ る骨粗鬆症に対する薬物療法の進歩発展が見られ、そ の結果、生活の行動範囲が広がるとともに、患者さん が治療効果を実感として享受できるため、患者さんに満 足していただける診療科でもあります。さらに薬物療法、 理学療法・運動療法、ブロック注射等の保存療法、手



#### NST 香旨会発 NST (NutritionSupportTeam:栄養サポートチーム) より、栄養関連のトピックを発信いたします。



## 栄養のお話

#### 栄養状態を把握することが出来る 血液検査項目

臨床検査室 副室長 栗原 惣一

栄養状態を客観的に評価するには血液検査を 用います。特に栄養アセスメント蛋白は、体内 での半減期の違いにより、静的指標と動的指標 があります。静的指標としてはアルブミン(ALB) などがあります。また、動的指標として血中半 減期の短い Rapid Turnover Protein (RTP) のトランスサイレチン (TTR). レチノール結合 蛋白(RBP)などがあります。これら3項目に ついて簡単に説明します。

#### ALB (アルブミン)

半減期が21日と長く、体内プールも多いため減 少するのに時間を要するため, 中期長期の管理に有 用です。また肝機能障害や腎障害の影響を受けやす く、他の検査データや臨床症状と比べながら結果の 解釈が必要です。

#### TTR (トランスサイレチン)

蛋白電気泳動法で ALB より陽極側に泳動される ためプレアルブミンとも呼ばれます。半減期が2日 と短いため、蛋白の摂取状況を鋭敏に反映します。 血中では甲状腺ホルモン、サイロキシンの輸送蛋白 としての働きと、RBPと結合して RBP の腎糸球体か らの濾過を防いでいます。また、肝臓で合成される ため肝機能障害で低下します。さらに、炎症反応や 感染症でも低下します。

術療法、日常生活指導などエビデンスに基づいた治療 の選択肢があります。

その中から医師、医療スタッフと患者さんとの共同作業の上で医療の根幹を支えるインフォームド・コンセントの重要性を認識し、最良の治療方法を選ぶという醍醐味が味わえます。疾病、障害、疼痛のために就労、就学、スポーツ活動が妨げられている人の早期の社会復帰をサポートすることで運動器疾患・障害をもつ患者さんのかなり多くの方が社会活動に従事可能となります。したがって整形外科医は、その治療効果に対する患者さんの期待が高く、それだけ高い水準の治療が要求されます。

一方,運動器に関する救急医療の後に発生する後遺障害に対する運動器リハビリテーションは、ここ数年、整

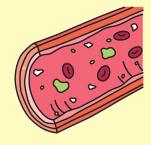
形外科の手法を用いることで飛躍的に進歩しております。増え続けるニーズに応え、安心をサポートする体制を提供すべく、これからも亀田総合病院整形外科はがんばりますので、引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。



#### RBP(レチノール結合蛋白)

半減期が 0.5 日と短く、栄養状態の変動を鋭敏に反映します。血中ではレチノール(ビタミン A)を結合し標的組織に運び、放出後 TTR と乖離し腎臓で濾過され尿細管で再吸収され異化されます。このため、腎疾患では増加します。また、肝臓で合成されるため肝機能障害では低下します。上記のように、これらの項目は様々な疾患でも増減しますので、炎症反応や肝腎機能検査項目と併用しながら判定を行う事が重要です。また、各項目の血中半減期などを理解する事により、短期間の栄養状態の確認には半

減期の短い蛋白,中長期的 な栄養状態の確認は半減期 の長い蛋白を測定する事により,各患者さまの目的に あった栄養評価と管理を行う事が大切です。



#### トピックス

勉強会・研修会の参加ご希望の方は、 それぞれの締日までにお申し込みください。

#### 勉強会・研修会スケジュール

マインドフルネス勉強会 ~ 今という瞬間を意識的に生きる~ 第3回:チーム作り「他職種と連携してゆく工夫」

日時:2016年1月16日(土) 9:00~16:00 講師:高野山大学 教授 井上ウィマラ先生

場所: 亀田総合病院 K タワー13階ホライゾンホール

対象:医療従事者

井上ウィマラ … 山梨県生まれ。京都大学文学部哲学科宗教哲学専攻中退。曹洞宗で只管打坐と正法眼蔵、ビルマのテーラワーダ仏教でヴィパッサナー瞑想とアビダンマ仏教心理学を学ぶ。その後カナダで瞑想指導の傍ら心理療法を学び、バリー仏教研究所客員研究員を経て還俗。現在は、高野山大学で仏教瞑想と心理療法を統合したスピリチュアルケアの基礎理論と援助論の開発に携わる。

#### ELNEC-Jちばコアカリキュラム

#### 看護師教育プログラム

日時:2016年1月30日(土)~31日(日)2日間9:00~16:00 場所:亀田総合病院Kタワー13階ホライゾンホール

対象:看護師

#### がん就労支援講演会

日時:2016年2月6日(土)13:30~16:00

場所:亀田総合病院Kタワー13階ホライゾンホール テーマ:がんになったら知っておきたいこと

~治療、就労、お金のはなし~

対象: 医療従事者・一般の方向け

#### 第10回緩和ケア基礎研修会

日時:2016年2月11日(木·祝)·14日(日)2日間9:00~17:30 場所:亀田総合病院 K タワー13階ホライゾンホール

対象:医師

#### 放射線治療講演会

日時:2016年2月17日(水)18:30~20:00

場所: 亀田総合病院 K タワー13階ホライゾンホール 対象: 亀田総合病院及び近隣医療機関の医師・看護師・ コメディカル

#### 第6回地域医療連携交流会

日時:2016年3月1日(火)18:30~21:30

テーマ:地域包括ケアについて

場所: 亀田医療技術専門学校 2 階ホール

懇親会: 亀田総合病院 K タワー13階ホライゾンホール 対象: 亀田総合病院及び近隣医療機関の医師・看護師・

コメディカル

#### がんとリハビリテーション栄養講演会

日時:2016年3月11日(金)18:00~19:00 場所:亀田クリニック5階リハビリ研修室

対象: 亀田総合病院及び近隣医療機関の医師・看護師・

コメディカル

地域医療連携室 メンバーから

#### 今回のご紹介内容

- ・氏名
- ・部署/職種
- 憧れの人
- ・将来の夢



草薙 洋

- ①診療部 消化器外科 医師
- ②特になし
- ③沖縄に住みたい



- ①診療部 腫瘍内科 医師
- ②特定の人は いません
- ③弱い立場の人が不利に

ならないような医療 提供とその制度作り



丸山 祝子

- ①看護管理部 助産師
- (2)<del>[3]</del>
- ③毎日笑って 過ごせること





杉田 登子

- ①地域医療連携室
- 看護師 ②マザー・テレサ
- ③平和な老後



永井 三枝

- ①看護管理部 看護師
- ②母
- ③海外にプール付 の家でゆっくり 暮らしたい



安室 修

- ①薬剤部 薬剤師
- ②林篤史
- ③宇宙から地球 を見る



打野 弘子

- ①総合相談室 看護師
- ②キラキラ輝いて いる人
- ③住みやすい地域 作りに関わって



中村 雅代

- ①地域医療連携室 事務
- ②オードリー・ ヘップバーン ③世界遺産めぐり





吉野 有美子

- ①総合相談室 看護師
- ②秘密です
- ③元気でかわいい、 ちょいぼけの おばあちゃんに なること



高畠 和恵

- ①総合相談室 看護師
- ②あの方
- ③時間気にせず、 飲み歩き



鎌田 喜子

- ①総合相談室 MSW
- ②福山雅治
- ③八百屋 子育て OURS 平日の長期旅行



児玉 照光

- ①総合相談室 **MSW**
- ②特になし
- ③時間にゆとりが 出来たら国内の 色んな所に旅行 したい



新田 静江

- ①亀田医療大学 老年·在宅看護学領域 教員 (看護師)
- ②昔は兼高かおるさん
- ③元気で魅力的な おばあさん



栗栖 千幸

- ①亀田医療大学 教員 (看護師)
- ②エンヤ(Enya)
- ③世界一周すること





林 裕子

- ①地域医療連携室 事務
- ②天海祐希
- ③世界遺産を巡る旅 ホノルルマラソン



吉野 希望

- ①地域医療連携室



- ②松本孝弘(B'z)
- ③マイホームを建てる



番場 陽平

- ①情報戦略室 事務
- ②リリー・フランキー
- ③東京五輪までに 結婚



大橋 洋子

- ①地域医療連携室 事務
- ②特になし
- ③気ままに旅を する



黒川 亜純

- ①地域医療連携室
- 事務 ②祖母
- ③着物の似合う 女性になる



唐鎌 房子

- ①地域医療連携室
- 事務 ②スター
- ③老後は優雅に 暮らす



#### 「ホットケーキ」



朝はとにかく 時間がない。自 身の支度, 朝食 の支度,洗濯に 子供の支度と. 毎朝ばたばた である。

特に手こずってしまうのが、子供の 朝ご飯。寝起きの子供をきびきび動か すのは難しい。何とか着替えさせても, なかなか朝ご飯を食べてくれない。

そんな中, 最近朝食としてよく作っ ているのがホットケーキ。工夫するの はまず大きさ。大きすぎると"こんな に食べられない!"と思うのか、なか なか進まないが、小さめに作ると割と スムーズに食べてくれる。

次は味。プレーンの物は勿論、子 供が好きなチーズやベーコンを混ぜた り、ピザ味にしてみたり。サツマイモ やバナナをつぶして混ぜたり、ナッツ やドライフルーツを砕いて混ぜたり。 これは混ぜたりのせたりしたら美味し いかも、と思う物に色々チャレンジし ている。

そしてデコレーション。数種類の味 を作り、好みの物をお皿に取らせ、バ ター・蜂蜜・ホイップクリームやチョ コクリームを自分で好きなように飾ら せる。それでテンションがあがるのか, お菓子感覚で食べるからか、朝食が ホットケーキの日は割とスムーズだ。

食べこぼしもご飯に比べるとあまり なく、片付けるのも楽で、母も子も朝 から HAPPY である。

我が家にはホットケーキミックスの ストックが欠かせない。

かめこ